

ミライロと関鑑



福岡商工会議所が150周年を迎える「10年後」をキーワードに学生が成長企業の若手社員を取材し、将来の展望を探ります。



学生スタッフ NPO法人学生ネットワークWAN



取材 株式会社ビルドヒューマニー

多田 伯明さん

■今月の取材先 株式会社ビルドヒューマニー とは？
ビルメンテナンス業を中心にマンション・アパート・ビルの営繕工事やリフォーム・リノベーション工事などの事業を展開している。ビルのメンテナンスにおいて、迅速で質の高いサービスを提供し、居住者の安心と安全を守っている。

「『ワンストップ』を強みに、 『ワクワク』を提供します」

株式会社ビルドヒューマニーは、株式会社サンコーライフサポートから福岡の建築部門として分社し2019年8月に設立された。「人と建物を想う会社」という企業理念のもと、総合ビルメンテナンス事業を中心に、マンション・アパート・ビル営繕工事やリフォーム・リノベーション工事のサービスを展開している。課員がワクワクしながら仕事に取り組むことで、入居者様もオーナー様も“ワクワク”するような、住み続けたいくなる『暮らしのパートナー』を目指している。

そんな株式会社ビルドヒューマニーの営業部で、ビルマネジメントの営業や契約後の管理を担当している多田さんに、10年後をテーマにお話を伺った。

現在のお仕事を教えてください。

私はビルマネジメントの年間契約を結ぶための営業と、契約締結後の管理をしています。ビルマネジメントとは、具体的に言うと、入居者様が健康に過ごせるよう、共用廊下の清掃をしたり、消防用の設備やエレベーターの点検を行ったりする建物全体の保守管理業務のことを指します。その他にも、共用部の建物まわりの改修工事の提案・管理や、共用部などで

緊急性のある事件や事故があった際の対応を担当しています。

ビルマネジメントに興味を持ったのはなぜでしょうか。

一番の理由は、営業をする上で**オーナー様や管理会社の方と直接お会いできたこと**です。交渉などで、社外の方と関わる仕事が面白いと感じています。以前は内装の業務を担当していましたが、直接オーナー様と関わる機会を持つことが、なかなかありませんでした。業務を進めていく上で、その点がビルマネジメントと内装の業務との違いを感じました。加えて、ビルマネジメントは法律の問題も関わってくるため、知れば知るほど味が出てきます。そのような意味で「奥深さ」を感じ、ビルマネジメントに関わりたいと思いました。

多田さんが仕事をする上で大切にしていることはありますか。

私が仕事で大切にしているのは、「スピーディーかつ正確に」業務を行うことです。特に、「**正確さ**」は**大事にしています**。失敗してもいいとよく言われるのですが、失敗したら他の誰かが迷惑を被ってしまうことは間違いありません。なるべく

失敗しないように、先のことまで考え、常にどんなリスクがあるかを頭の中で予測して行動することを心がけています。想像を超えてくるようなアクシデントは自らの学びとし、次に生かすようにしています。例えば漏水や火災報知機の誤報は偶発的に起こり得ます。そのような緊急事態の際には、スピーディーに対応し事態を収束させたくうえで、丁寧に状況を説明し、入居者様に安心して暮らしてもらえるように対処しています。

御社の自慢できることを教えてください。

風通しが良いところですよ。自分の意見を社長に直接伝えることができますし、社長も気さくな人なので、私たちの声に耳を傾けてくれます。自分の意見が伝わりやすく、社員同士で気軽に声をかけあえることは長所だと思います。

また弊社は「パワーナップ」という、15分間のお昼寝を推進しています。居眠りやお昼寝というとネガティブなイメージがありますが、お昼寝をすることで力を養い、次の仕事に活かすのが「パワーナップ」なのです。これは福岡市の取り組みとしても行っていますね。

その他にもCSR活動として、平日の朝、会社の前の横断歩道で旗を持って交通誘導をしたり、ゴミ拾いをしたりしています。昨年は自治体で開催された餅つき大会にも参加し、地域の方とも交流を深められるように活動をしています。

株式会社ビルドヒューマニーの事業の強みを教えてください。

ワンストップであらゆるニーズに対応できることです。弊社は主にビルやアパートの清掃や管理を行う会社ですが、その他の問題にも対応することができます。例えば、弊社では清掃に合わせて建物の修繕まで行うことができます。ビルドヒューマニーは多くの協力会社と提携しているので、豊富な種類の提案ができます。また、緊急時の対応も他の同業者様に比べてスピーディーであるところが強みだと思います。

社長は、ワクワクを提供することを大切にされていますが、お客様にワクワクを提供できているな、と感じるときはどんなときですか。

まずは、自分の業務を楽しみ、自身がワクワクすることだと思います。

そのためには、業務を自発的に取り組むことや、効率よく進めることは重要なことの一つであると考えます。

効率よく業務を進めるためには、どうすべきか?ということには常に意識し、必ず自分で答えを見つけて実践しては、また考える、を繰り返しています。

その結果、「できた」が自身のワクワクになって、お客様の喜びやワクワクを提供することにつながっていると思います。

10年後、ビルドヒューマニーはどういう役割や立ち位置になっていると思いますか。

管理メンテナンスの管理量において、福岡で一番有名な企業にしたいです。現在は共同住宅をメインに管理しています



が、テナント、デパートのような場所にも事業を拡大したいと思っています。例えば、天神ビッグバンによって、天神コアや天神ビブレなどが生まれ変わり、新たな商業施設ができるので、そのような場所を管理できるようになりたいですね。時代は常に変化していくので、時代の流れやニーズに合わせて、提案の仕方も変えていく必要があると思います。

福岡市の西新に多くのタワーマンションが建ちましたが、「あ、建ってる」とただ見過ごすのではなく、どこの会社が管理しているのか確認したり、1回提案しに行くことができないかなどを考えたりするようにしています。老朽化の問題などもあり、いたるところで建物が建て変わっているの、常に新規獲得のチャンスはあると考えています。

今後10年の間に、会社の中でどのような役割を担いたいですか。

トップというよりは、トップを支えることができるナンバー2のような存在になりたいと思っています。社長は、よく周りを見ていて社員一人ひとりのことを大事に思っていることがわかります。そして、人とコミュニケーションを取りながら行う仕事にやりがいを感じているので、人と人や会社と会社をつなげることができるようなポジションにいたいんです。

最後に多田さんの展望を教えてください。

営業部ではまだ1年生なので、上司にアドバイスを貰いながら仕事を進めることが多いですが、今後は上司から話を聞きつつ仕事を進めるのではなく、「一人前」の仕事がしっかりとできるように勉強していきたいです。そして今後、自分よりも年下の社員に業務内容を教えられるようになった上で、自分自身もさらに高みを目指したいです。

お話を伺う中で、多田さんの仕事に対する取り組み方や、周りの方々との付き合い方への誠実で謙虚な姿勢が強く印象に残りました。

多田さん、貴重なお話をありがとうございました!



■NPO法人学生ネットワークWAN とは?
設立17年目を迎える学生主体のNPO。「学生だから〜できない」「地方だから〜できない」を変えるべく全国19地域の情報発信支援や、地域の関係人口をつくるコンテンツ企画運営をしている。私たちの運営するサイト「ガクログ」もぜひCHECK!! してください!
<http://www.gakulog.net/>

